

第3次山県市教育振興基本計画（2025～2029：5カ年計画）

重点目標		主要施策		事業	事業内容	R7年度指標	R8年度指標	R9年度指標	R10年度指標	R11年度指標
1	生き方の軸をもつ	1	山県学園構想	1	「分らない・できない」からの授業改善	一人一人に確かな力を育成するための探究的な授業の在り方を研究し実践する。	☐ 各教科における探求的な学びについて指導の在り方を検討する。	☐ 各学校の特色に応じた実践の検討(自由進度学習や異年齢学習など)及びトライアル。	☐ 積み上げた実践が効果的に働くように教育課程を編成し、実践を深め高める。	☐ 積み上げた実践が効果的に働くように教育課程を編成し、実践を深め高める。(継続)
				2	合同授業の推進事業	学校の特色や教科・領域の特性を発揮させる合同授業を実施する。	☐ 学校規模や学校の特色を精査し、有効な合同授業の教科や領域での活動を決め実施する。	☐ 合同授業で実施した教科や領域の有効性について検証する。	☐ 合同授業で実施した教科や領域の有効性について検証し改善策を明確にする。(PDCA,OODAIによる)	☐ 合同授業実施による成果を明確にする。
				3	オンライン教材の充実事業	他校の特徴的な授業をオンラインを通して受講し、自分たちの活動につなげる。	☐ 各学校において特徴となる授業や講演会の生み出し。	☐ 動画教材コンテンツ作成数1/校	☐ 授業でのコンテンツ活用数1回/校	☐ 授業でのコンテンツ活用数3回/校
		2	スクールワイドPBS	4	ポジティブ行動支援の充実事業	各学校においてSWPBSの取組を推進し、自他の存在や行為が集団によりよく作用するとうい自己有用感を高める。	☐ 全中学校が、取組における環境設定・目標共有・価値付けの成果を整理・公表する。	☐ 全小学校が、取組における環境設定・目標共有・価値付けの成果を整理・公表する。	☐ 全中学校が、生徒主体の取組を実施する。	☐ 全小学校が、児童主体の取組を実施する。
2	自分の正解をもつ	3	自己解決能力	5	自分の正解をもつ学習の充実事業	ダビンチルームやミケランジェロルームを活用し、興味のある事柄等を追求する中で、自分自身の力で問題(課題や疑問など)を解決する力を高める。	☐ ダビンチルームの活用率 小学校:月12回 中学校:月6回 ☐ 各小中学校の特色を明確にしたミケランジェロルームの開設・試行実施	☐ ダビンチルームの活用率 小学校 月12回 中学校8回 ☐ ミケランジェロルームの活用・充実 小中学校 月3回	☐ ダビンチルームの活用率 小・中学校 月12回 ☐ ミケランジェロルームの活用・充実 小中学校 月4回	☐ ダビンチルームの活用率 小・中学校 月12回 ☐ ミケランジェロルームの活用・充実 小中学校 月6回
		4	グローバルコミュニケーション	6	英会話力UPのための開発事業	中学校3年生を対象に、外国の方とオンラインで当該国の生活習慣や文化について会話をを行うことで、国際理解教育の促進を図るとともに英語表現力の向上を図る。	☐ 3中学校にて実施、内容の精選 ☐ 中中英語交流に向けての内容検討(新教科書の内容把握と次年度に向けての見直しをもつ)	☐ 3中学校にて実施、内容の精選 ☐ 中中英語交流の試行実践	☐ 3中学校にて実施 ☐ 中中英語交流の実践 ※1	☐ 3中学校にて実施 ☐ 中中英語交流の実践 ※1
3	失敗から学ぶ	5	山県実体験学	7	笑いと表現の学校の開発事業	笑いを生み出すこと(笑育)を通して、コミュニケーション力、論理的思考、プレゼンテーション力を高める(対象:小学校)。	☐ 拠点校での実施 2小学校が、4年生で実施する。	☐ 3小学校が、4年生で実施する。	☐ 4小学校が、4年生で実施する。 全小学校が、次年度4年生の年間指導計画へ位置づける。	
				8	森と川の学校の充実事業	山県市の森や川に関する体験活動を通して、自分との関わりで郷土の自然のすばらしさについて考え、見識を深める。(対象:小学校)	☐ 小学校5年生対象 バックからモジュールを組み合わせた活動にバージョンアップするための計画立案、実施	☐ 小学校5年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施	☐ 小学校5年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施	☐ 小学校5年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施
				9	山と歴史の学校の充実事業	大桑城跡の調査成果等をもとに、市内小学校児童を対象にした講話を行う。 ・山県市に残る歴史遺産に触れる活動を通して、自分から課題をもって見聞きする調査活動のよさを体感し、学びを深める。(対象:小学校) ・大桑城跡の調査成果等をもとにした講話で学びを深める。(対象:小学校)	・市内小学校高学年児童を対象に講話を実施(全小学校児童宛て実施) ☐ 小学校6年生対象 バックからモジュールを組み合わせた活動にバージョンアップするための計画立案、実施	(継続実施) ・市内小学校高学年児童を対象に講話を実施(全小学校児童宛て実施) ☐ 小学校6年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施	(継続実施) ・市内小学校高学年児童を対象に講話を実施(全小学校児童宛て実施) ☐ 小学校6年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施	(継続実施) ・市内小学校高学年児童を対象に講話を実施(全小学校児童宛て実施) ☐ 小学校6年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施
				10	防災と科学の学校の充実事業	濃尾地震に関する調査活動を通して、災害を科学的に分析し、防災に対する意識を深め、自ら発信する力を伸ばす。(対象:中学校)	☐ 中学校1年生対象 バックからモジュールを組み合わせた活動にバージョンアップするための計画立案、実施	☐ 中学校1年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施	☐ 中学校1年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施	☐ 中学校1年生対象 前年度の活動を参考に、各学校らしさの出る活動の計画立案、実施
				11	仕事と哲学の学校の開発事業	成功の裏にはその数倍の失敗があることを企業の中から学ぶことで、失敗を恐れず何事にも前向きに取り組もうとする意欲を育てる。	☐ 年間を見通した指導計画の作成及び、講師の選定とリストの作成(対象中学校2年)。	(継続実施) ☐ 指導計画に基づき、講話や体験学習を実施	(継続実施) ☐ 指導計画に基づき、講話や体験学習を実施	(継続実施) ☐ 指導計画に基づき、講話や体験学習を実施
				12	キャンプの学校の開発事業	協働学習・協働生活を通して、個々の資質・能力を活用・発揮しながら互いによりよい生活を築いていく。(対象:小中学校)	☐ 試行のためのモデルプランの作成と実施のための計画立案	小学校2校 中学校1校 モニター実施 ※デイキャンプ方式	小学校7校(2団体) 中学校2校 希望校実施(前年度校以外) ※デイキャンプ方式	小学校 中学校 希望校実施 ※泊を伴う活動
		6	アントレ教育	13	社会課題探求活動の開発事業	生徒自らが探究課題を掲げ、現場に赴き調査や実践活動を行いながら、社会課題を解決するための思考力と実行力を身に付ける(探究課題別異学年学習)。	☐ 全小中学校が、探究課題別異学年学習の可能な単元や学年を選定する。小中モデル校を選定する。	☐ 小モデル校が、探究課題別異学年学習を実施し、成果を整理・公表する。	☐ 中モデル校が、探究課題別異学年学習を実施し、成果を整理・公表する。 全小学校が、探究課題別異学年学習を年間指導計画に位置づける。	☐ 全中学校が、探究課題別異学年学習を実施する。
4	成長の実感をもつ	7	こどもサポートセンター	14	「わたしの居場所」安心事業	誰しもが「心」と「学び」の補償がなされるように設備や人的配置を整え、たくましく生き抜く子供の成長を援助する。	☐ 備品や場所の環境整備に向けた準備。	☐ ICT機器の整備。(継続) ☐ 授業評価の在り方の検討。	☐ 学校との個別支援計画における有効な共有についてを実践。 ☐ 授業評価の在り方の検討	☐ 学校との個別支援計画における有効な共有についてを実践。(継続) ☐ 授業評価の在り方の検討(継続)
		8	こどもみらいデータベース	15	総合的支援の充実事業	いじめや不登校など子どもが抱える困難を事前に予測・把握するため、市や教委、学校が保有するデータをDBにまとめ、AI予測支援システムで支援対象者を抽出し、支援につなげる。	支援対象者を各学校6人程度	支援対象者を各学校7人程度	支援対象者を各学校8人程度	支援対象者を各学校9人程度
		9	STARアセスメント	16	社会的スキル支援の充実事業	生徒指導上の問題を未然に防ぎ、快適な学習環境の確保につなぐ手立てや支援の方法を見出し、児童生徒支援につなげる。	☐ STAR事業の実施。 ☐ より簡易的なアンケートの開発。 ☐ 実客分析の観点を選定する。	☐ 全小中学校が、STAR事業を実施する。 ☐ A中学校区が、STAR事業の結果に基づいた支援や手立てについて、小中連携で整理・公表する。	☐ 全小中学校が、STAR事業を実施する。 ☐ B中学校区が、STAR事業の結果に基づいた支援や手立てについて、小中連携で整理・公表する。	☐ 全小中学校が、STAR事業を実施する。 ☐ C中学校区が、STAR事業の結果に基づいた支援や手立てについて、小中連携で整理・公表する。
5	夢中になる	10	マイエントリー事業	17	成功者に学ぶ教育の開発事業	専門的な分野に長けた方が、どの様に物事を捉えているのか、成功者の取組方や物の見方、考え方を学ぶ。	☐ 4年間を見通した講師の選定と1年目の実施。	(継続実施) ☐ 講師の選定と2年目の実施	(継続実施) ☐ 講師の選定と3年目の実施	(継続実施) ☐ 講師の選定と4年目の実施
		11	アトリエ事業	18	放課後の教育サービスの開発事業	学校の余裕教室を活用した、地域住民との交流可能な15時30分以降(放課後)の子どもたちの居場所の提供	小学校3校において開催	小学校4校において開催	小学校5校において開催	小学校6校において開催
6	人とつながる	12	地域クラブ	19	部活動の地域移行・NPOへの完全移行の実施事業	休日の部活動を地域移行しつつ、平日の部活動においても段階的に地域へ移行できる仕組みを構築する。(5年計画)	(継続実施) 部活動地域移行事業のTSCへの業務委託	(継続実施) 部活動地域移行事業のTSCへの業務委託	(継続実施) 部活動地域移行事業のTSCや各スポーツ団体も含めた機関への業務委託	(継続実施) 部活動地域移行事業のTSCや各スポーツ団体も含めた機関への業務委託
		13	未来塾	20	公営学習塾の充実事業	家庭での学習が困難であったり、学習が遅れがちな市内在住・在学の中学生及び高校生を対象に、自主的な学習習慣と基礎的な学力の定着を目指し支援する。 - 1/2 -	(継続実施) ニーズを把握しながら実質について検討して行きます	(継続実施) ニーズを把握しながら実質について検討して行きます	(継続実施) ニーズを把握しながら実質について検討して行きます	(継続実施) ニーズを把握しながら実質について検討して行きます

第3次山県市教育振興基本計画（2025～2029：5カ年計画）

＜用語説明＞

主要施策 No.		説明
4	スクールワイドP B S	学校全体で取り組むポジティブな行動支援（School-Wide Positive Behavior Support）。
6	グローバルコミュニケーション	異なる文化や言語を超えて、効果的に意思疎通を図ること
13	アントレ教育	課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探索したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育
16	STARアセスメント	生徒指導課題に関し、データベースとして蓄積された客観的根拠に基づき、アセスメント結果で判明した学校課題と解決方法を学校に還元するシステム
19	T S C	特定非営利活動法人たかのみスポーツクラブ。「いきがい・ふれあい・夢と感動をもたらすスポーツの町づくり」を目指す、総合型地域スポーツクラブ。（T S C ホームページより）
20	未来塾	地域住民等の参画を得て、基礎学習の学び直しを必要とする中学生、高校生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目指す学習支援活動。